

見世 千賀子

MISE, Chikako



[共同研究]

- 多文化共生社会における市民性の教育に関する研究プロジェクト
このプロジェクトでは、多文化共生社会において求められる市民的資質とは何かを検討し、かつそれを学校教育でどのように育成するのか、そのためのカリキュラム開発を行うことを目的としている。今年度は、東京都立小山台高校定時制課程における学校設定科目「市民科」の授業を受けた生徒の記述の分析、検討を行い、新たな成果の刊行に向けた検討作業を行った。
- 海外子女教育の新展開に関する研究プロジェクト
在外教育施設に学ぶ子どもの実態の多様化が進む中、その多様性に対応するための取り組みが始まっている。このプロジェクトでは、そのような実態を把握し、今後どのような教育が可能か検討することを目的とする。今年度は、日本人学校における教育実践研究、支援ニーズについて、情報収集を行った。さらに、文科省事業「帰国教師ネットワーク構築事業」の一環で海外子女教育財団、本学教員、本学附属学校教員との連携の下、教育実践研究に対する支援を試みた。

[科研費等の研究]

- 科研費基盤研究(C)「グローバル化時代における市民性教育の日豪比較研究」(平成27～30年度 研究代表:見世千賀子)
本研究は、オーストラリア、日本および日本の在外教育施設におけるグローバル市民の育成、グローバルシティズンシップの教育に関する理論、政策、実践を明らかにすることを目的とする。今年度は、主にカリフォルニア州の補習校や現地校での実践について、調査、情報を収集し検討を行った。
- 文部科学省委託事業「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」(受託:海外子女教育振興財団「AG5Project」(Advanced Global 5 Project)) (平成29～33年 研究代表:佐藤郡衛 明治大学、中村雅治 財団理事長)
本事業は、在外教育施設において高度グローバル人材の育成を目指す取り組みを支援するものであり、5つのテーマについて、共同研究・開発を進めている。このうち、テーマ2「日本人学校における日本語指導プログラム開発」(台北・台中・高雄日本人学校)のチームリーダーを担当し、台北日本人学校における日本語補習プログラムの開発等を行った。また、テーマ5「日本文化発信の拠点形成のプログラム開発」(アスンシオン日本人学校)のプロジェクトを担当し、アスンシオンおよびイグアス日本語学校教員の日本国内研修を企画・実施等を行った。
- 海外子女教育振興財団「G - ONE Project」(Global Overseas New Education Project) (平成28年～ 研究代表:佐藤郡衛 明治大学、中村雅治 財団理事長)
本プロジェクトは、海外子女・帰国子女教育のさらなる活性化を目指し、あらたな政策提言を行っていくため、また、在外教育施設と協働で課題に向き合い、グローバル化時代の新たな教育を創造する目的で立ち上げられた。今年度は、AG5プロジェクト等と関連付けた取り組みを行った。

[研究業績]

- 「バイリンガル・バイカルチュラル人材の育成に向けてー台北日本人学校における日本語指導プログラム開発」9月号No.547、海外子女教育財団、2018。
- 書評 新井紀子著『AI vs教科書が読めない子どもたち』7月号No.545、海外子女教育財団、2018。
- 学会発表「在外教育施設における新しい教育の展開」異文化間教育

学会第39回大会(於:新潟大学2018年6月4日) 佐藤郡衛、渋谷真樹、岡村郁子、近田由紀子との共同発表。

- 『補習校調査報告書』海外子女教育振興財団、2018。
- 『台湾プロジェクト報告書』海外子女教育振興財団、2018。

[海外調査]

- 台北・台中日本人学校において国際結婚家庭の子どもへの日本語指導等に関する調査(2018年5月、9月)
- ロスアンゼルス補習授業校、カリフォルニア州の現地校においてグローバルシティズンシップの教育等に関する調査(2018年11月)

[講演会・研修会への参加]

- 国分寺青年会議所主催、ブンジグローバルフォーラム、講演「世界で活躍する子の育て方」(2018年9月8日)
- 国分寺市国際協会主催、外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習サポーター養成講座、講義「異文化理解とは」(2018年12月12日)
- 海外子女教育専門相談員連絡協議会主催、第5回海外子女教育専門相談員連絡協議会、講演「在外教育施設の日本語指導の実際ー台北日本人学校を中心として」(2019年2月22日)
- 国分寺市市民生活部人権平和課主催、多文化共生講座、講演「オーストラリアと多文化共生」(2019年3月10日)
- 東京都立忍岡高等学校、2年生対象主権者教育講座、講演「選挙権と政治と実生活の関係について」(2019年3月22日)
- 国際理解教育学会、2018年度「実践者のための」論文の書き方コーチング 講師(2018年6月17日)
- AG5、アスンシオン日本語学校およびイグアス日本語学校の教師3名の国内研修を企画・実施(2019年1月21～28日)
- AG5、台湾の台北・台中・高雄日本人学校教員6名の国内研修を企画・実施(2019年2月4～8日)

[学内の活動]

- 海外子女教育セミナー企画・運営(2018年5月26日)
- JSL研修会、LGBT研修会等国際教育センター行事の運営
- 2018年度「在外教育施設の教育実践研究支援プロジェクト」の運営、文科省「帰国教師ネットワーク構築事業」(受託:海外子女教育振興財団)

[主な学会活動]

- 異文化間教育学会(常任理事、広報・情報化委員会委員長)
- 国際理解教育学会(紀要編集委員)
- 日本比較教育学会
- オセアニア教育学会

[教育活動]

- 学部「海外・帰国児童生徒教育論」、大学院教育学研究科「国際教育特論」「国際教育演習」
- 非常勤講師、青山学院大学教育人間科学部「異文化理解教育」、中央大学文学部「国際比較教育学」、武蔵野大学大学院「比較教育研究」
- 大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育コース(比較・国際教育学領域)の院生2名の修論の主旨導担当
- 交換留学生2名(韓国、中国)の指導担当
- この他、随時、本学および他大学の卒論・修論等の相談を受けた。